

真理に同意する 聖霊に導かれて歩む幸い

<QT と聖書通読の恵み> ルカ 1 章では何が起きていたのか？

*ルカ 1：24 しばらくして、妻エリサベツは身ごもった。そして、「主は今このようにして私に目を留め、人々の間から私の恥を取り除いてくださいました」と言い、五か月の間、安静にしていた。(胎動が始まるのが妊娠 5 ヶ月目頃)

*ルカ 1：37 神にとって不可能なことは何もありません。」マリアは言った。「ご覧ください。私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になりますように。」すると、御使いは彼女から去って行った。それから、マリアは立って、山地にあるユダの町に急いで行った。(ナザレから 100km 南へ)・・・1：56 マリアは、三か月ほどエリサベツのもとにとどまって、家に帰った。(つわりが終わって家に帰った)

1) 肉を制限する ルカ 4 章肉を制限して御霊の導きを得る

*ルカ 1：80 幼子は成長し、その霊は強くなり、イスラエルの民の前に公に現れる日まで荒野にいた。マタイ 3：4 このヨハネは、らくだの毛の着物を着、腰には皮の帯を締め、その食べ物はいなごと野蜜であった。

*ガラテヤ 5:16 私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。なぜなら、肉の願うことは御霊に逆らい、御霊は肉に逆らうからです。この二つは互いに対立していて、そのためあなたがたは、自分のしたいと思うことをすることができないのです。

*ヨハネ 5:30 わたしは、自分からは何事も行うことができません。ただ聞くとおりにさばくのです。そして、わたしのさばきは正しいのです。わたし自身の望むことを求めず、わたしを遣わした方のみこころを求めるからです。

2) 御霊の導きと主の栄光 聖霊は真理なるキリストに導く

*ヨハネ 16：13 しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。御霊はわたしの栄光を現します。わたしのものを受けて、あなたがたに知らせるからです。

*詩篇 8：3 あなたの指のわざである天を見、あなたが整えられた月や星を見ますのに、人とは、何者なのでしょう。あなたがこれを心に留められるとは。人の子とは、何者なのでしょう。あなたがこれを顧みられるとは。あなたは、人を、神よりいくらか劣るものとし、これに栄光と誉れの冠をかぶらせました。

3) 真理に同意して敵に同意しない 悪魔の試みを退けたイエス

+罪 ギ) ハマルティア：的外れ

*詩篇 78 篇 19～22 節 そのとき彼らは神に逆らって、こう言った。「神は荒野の中で食事を備えることができようか。確かに、岩を打たれると、水がほとぼしり出て流れがあふれた。だが、神は、パンをも与えることができようか。ご自分の民に肉を備えることができようか。」それゆえ、主は、これを聞いて激しく怒られた。火はヤコブに向かって燃え上がり、怒りもまた、イスラエルに向かって立ち上った。これは、彼らが神を信ぜず、御救いに信頼しなかったからである。

*ヨハネ 12：24 まことに、まことに、あなたがたに告げます。一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのままです。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世でそのいのちを憎む者はそれを保って永遠のいのちに至るのです。わたしに仕えるというのなら、その人はわたしについて来なさい。わたしがいる所に、わたしに仕える者もいるべきです。もしわたしに仕えるなら、父はその人に報いてくださいます。